

# トレーニングコース

## アンケート結果分析と次回にむけて (1)

- 説明がわかりにくいというのはなかったので説明方法は今回のでよいかと思う。
- アンケートには現れていないが、現場を見ていると全員がSampleReader - SampleMonitorの組み合わせで動かせていたようだ。
- 後輩にまったく勧めない(1名)というのはなぜか聞くことができなかったのも理由は不明。
- 昨年度はGEMのデモがあったが今年度は都合がつかなかったのもソフトウェアだけになってしまった。来年度はどこかでデモを実施するなどしたほうがよいかもかもしれない。
- 「ADCでもscalerでもいいので実ハードにアクセスする実習があるといいと思いました」という声があったのでなにかハードウェアを用意してそれを読んでもらうとか。
- ネットワークプログラミングに関しては昨年度は、余った時間に急遽行ったので時間が足りなかった経験から今年度はあらかじめ別途時間をとるようにしておいた。「ネットワーク部分は倍くらい時間をとってもいい」という声もあったので来年度はさらに時間を増やすことを考えたほうがよいかもかもしれない(DAQだけに限らずネットワークのプログラムを書くことができるようになるのはたいへんよろこばしいと思う)。

# トレーニングコース

## アンケート結果分析と次回にむけて (2)

- 開発マニュアルは自習できることをめざして書いてあるのだが、今回のアンケートで実際に自習されたかたがいたので確認できた。来年度は、自習済みの方とか経験者は後から参加できるように日程を考えたかどうか。
- アンケートにあった「OSのインストールからの環境構築」については、開発マニュアルの付録に追加した。
- アンケートにあった「オフライン環境での構築」についてはISOイメージを準備するなど対応を考慮中。
- アンケートにあった「Windowsへの対応」についてはまだ手つかずである。
- DAQ-Middlewareを初めて動かす人とMLF方面のようにすでに使っている人が混在している。初めての人むけコースと、使っている人むけコースにわけることを考えてもよいかもしれない。